

第1回 東京理科大学界面科学研究部門 産学連携セミナー

界面科学は、界面の物性、ならびに界面において生じる様々現象を解析することを主眼とした基礎研究を基盤としていますが、一方で基礎研究において得られた結果が、化粧品・医薬品・食品・色材他の様々な産業分野における開発研究にダイレクトに結びつきやすいという特長を有しています。本セミナーでは、界面科学研究部門メンバーならびに企業研究者による先端開発研究を紹介していただき、効果的な産学連携の場とすることを目的とします。

日時：2020年12月9日（水）13時 — 17時

実施形態：Zoomによる遠隔開催 以下から参加登録をお願いします。

<https://tus-ac-jp.zoom.us/meeting/register/tJErc6rrD4qEtIzsSDLK48WSAjw2CBXIL49>

プログラム

13:00 開会挨拶 界面科学研究部門 部門長 酒井秀樹

第一部：部門員からの先端研究紹介

13:10-13:50

「長寿・健康社会を支える 再生医療用インジェクタブルハイドロゲルの one-pot 設計」

理学部第一部応用化学科 大塚 英典 先生

13:50-14:30

「QCM-D を利用した固／液界面現象の解析：産学連携事例の紹介」

理工学部先端化学科 酒井 健一 先生

休憩

第二部：企業からの先端研究紹介

14:45-15:25

「溶液構造解析が切り開く界面科学研究（界面活性剤・タンパク質・ナノ粒子等）の新展開」

ニッコールグループ株式会社コスモステクニカルセンター主席研究員 小倉 卓先生

15:25-16:05

「塗料・インク分野における粒子分散技術の現状と課題」

小林分散技研 代表 小林 敏勝 先生

16:05-16:45

「界面活性剤の会合体を活用した高性能化粧品開発」

株式会社資生堂 グローバルイノベーションセンター 渡辺 啓 先生

16:45 開会挨拶